



技術職員と機器

岡山大学 総合技術部
技術主幹 阿部匡史

2026年1月30日(金)



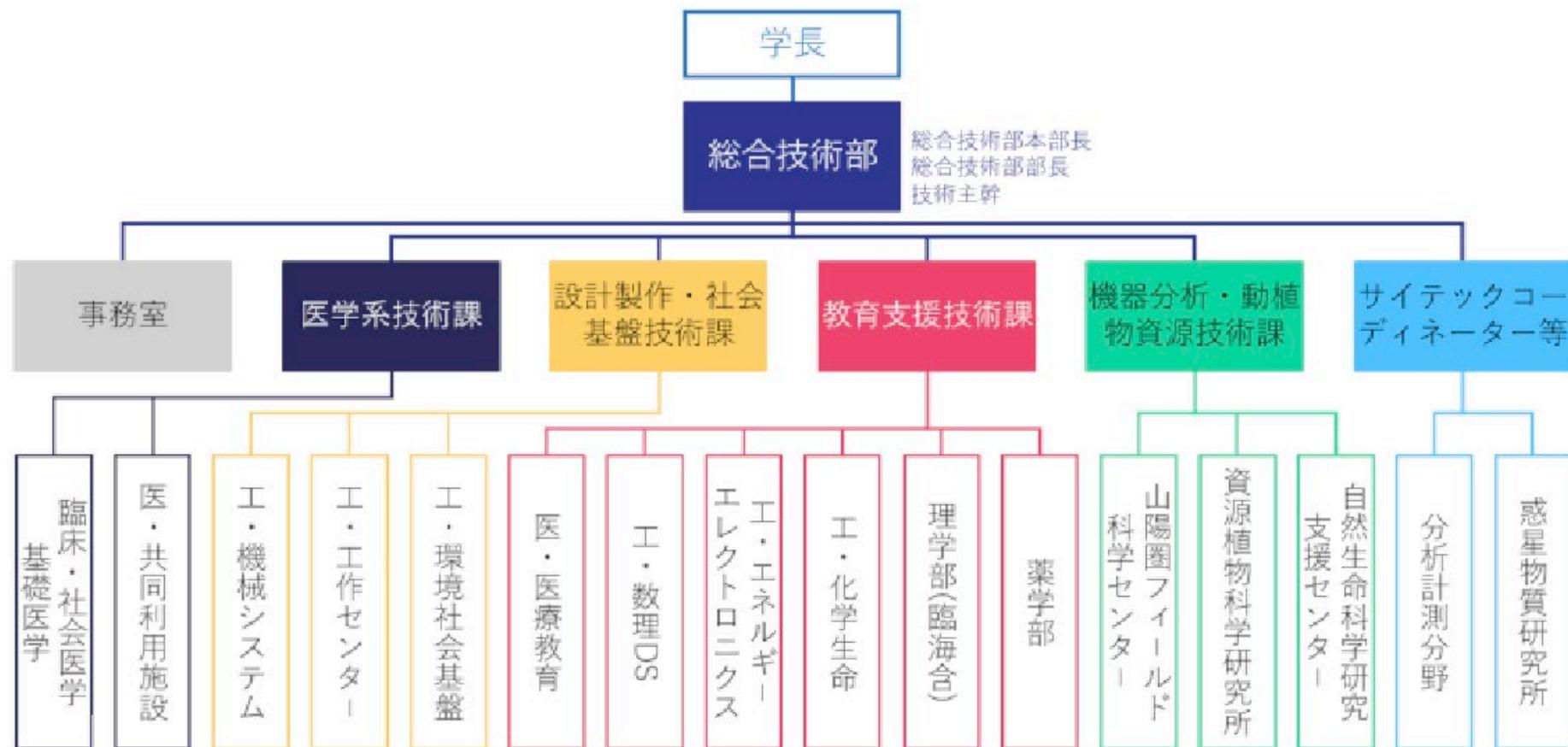
技術職員

施設企画部・・・施設系技術職員

総合技術部・・・**教育研究系技術職員**

岡山大学病院医療技術部・・・医療系技術職員

組織図



配置先がセンター等の施設、または部局

SXプラットフォームで機器を借りる

センター等の施設（高額大型機器）

- 電子顕微鏡
- 質量分析計
- NMR
- 顕微鏡 など

部局研究室（場合によっては高額大型機器）

- 分光光度計
- HPLC
- 遠心分離機 など

「現在、岡大でSXプラットフォーム導入第1号を進めている」

機種：ガスクロマトグラフ三連四重極質量分析計

設置場所：自然生命科学研究支援センター 分析計測分野



教員、技術職員、事務職員（財務部等）で機種選定

- ・本学や近隣大学にない（CFPOU等で調査）
- ・共用機器として運用
- ・汎用性の高いもの（利用者がある程度見込める）
- ・近隣大学、企業も使用可能

（化学、生物、薬学、医療、食品、環境分野等で利用可）

令和8年5月頃納品、6月稼働予定

- ・納品後は機器説明会、講習会、利用者講習会を開催
- ・運用については、技術職員とともに本学独自の学生マイスター制度を利用して人材育成にも努める

よく聞かれる話

保守費

- ・保守契約したいが高額

修理費

- ・修理に来てもらうと費用がかかる
- ・古い機器で故障したらもう修理部品がない

SXプラットフォームで新しい機器を借りることによって、不具合が生じた場合でもメーカーの保守で修理可能

借りることの

メリット

- ・最新機器が使える
- ・使用時の安全性が高くなる

デメリット

- ・多少無理な使い方をしてしまうかもしれない？
- ・カスタマイズできない？
- ・不具合が生じた時に自分で対応せず、メーカー任せになる？

最新機器の機器操作

- 測定
 - 自動化
 - 操作自体の簡素化
- 解析
 - PCソフトウェア
 - 多機能

技術職員の人材育成との関わり

- TCカレッジ
- 人事交流
- 学内研修会
- 研修会：メーカー主催の説明会や研修会、
オンライン講習会などへ参加
- 学会の機器展示で最新の情報を得る
- メーカー担当者の方からの情報収集

	1Q	2Q	3Q	4Q
初級	共通カリキュラム （安全講習 ^{注1} 、自然科学研究機構技術研修、英語研修 ^{注1} 、論文公聴会 ^{注1} 、東工大OFC業務見学）			
中級	技・メ)生物系各種光学顕微鏡 (基礎) 技)旋盤実習(基礎)	技)フローサイトメーター (基礎) 技)フライス盤実習(基礎) 技)マウス・ラット実技講習会	技・メ)生物系走査型電子顕微鏡 (基礎) 技)3Dプリンター実習(基礎) 他)研究室見学 ^{注1} 他)機器メーカー見学	技・メ)生物系透過型電子顕微鏡 (基礎) 技)生物系電子顕微鏡試料作製 (基礎) 技)ワイヤ放電加工実習(基礎)
	メ)技術・研究支援概論1(メーカー) 他)技術・研究支援発表会 他)TCカレッジシンポジウム等 他)中古機器バラシキャラバン隊			
上級	技)生物系各種光学顕微鏡 (応用) 技)旋盤実習(応用)	技)フローサイトメーター (応用) 技)フライス盤実習(応用)	技)生物系走査型電子顕微鏡 (応用) 技)3Dプリンター実習(応用) 技)生物組織試料採取実習	技)生物系透過型電子顕微鏡 (応用) 技)ワイヤ放電加工実習(応用) 技)生物系電子顕微鏡試料作製 (応用)
	学)技術・研究支援概論2(教員) 他)イベント(シンポジウム等)企画&運営 他)医工講究			

学)大学教員が講師(大学の講義を活用)、 技)岡山大学技術職員が講師、 メ)機器メーカー担当者が講師、 他)その他カリキュラム

赤字: 毎年開講(必修カリキュラム)、 黒字: 毎年開講(選択カリキュラム)

注1: 他機関職員等は東京科学大と同等の研修・セミナー受講で単位認定とする。

黄字: カリキュラム準備中のため、令和7年度は開催無し。

「研究機器の共用の体制・整備等の強化促進に関する タスクフォース」(略称:チーム共用)

コアファシリティ部門

- ReGAIN(機器の修理費、移設費、機能強化に対する支援)
- 研究設備マスタープラン
- 機器のランク付け
- 共用化に対するインセンティブ設計 など



ご清聴ありがとうございました